

北見工業大学学報

第222号 (2007年7月号)

目 次

入 試	平成20年度入学者選抜要項の公表……………	2
	平成20年度編入学試験の実施……………	4
研 究 助 成	科学技術振興機構平成19年度シーズ発掘試験採択課題決定……………	5
	平成19年度(財)実吉奨学会研究助成交付決定……………	6
	平成19年度(財)北海道河川防災研究センター研究助成交付決定……………	6
	平成19年度(財)秋山記念生命科学振興財団研究助成(奨励助成)交付決定……………	6
	平成19年度公益信託北海道開発国際交流基金助成金交付決定……………	6
	平成19年度共同研究の受入状況……………	7
	平成19年度受託研究の受入状況……………	8
	平成19年度奨学寄附金受入状況……………	9
国 際 交 流	アメリカ合衆国・アラスカ大学フェアバンクス校との 学術・教育交流協定締結……………	10
	モンゴル科学技術大学との学生交流に関する覚書の締結について……………	10
諸 報	陸上競技場の芝補修工事の開始……………	11
	研究者交流施設前に憩いの場……………	11
	北見工業大学学術機関リポジトリ KIT-R(きっとあーる)を公開……………	12
	「平成18年度ベストティーチング賞」表彰式を実施……………	13
	「オープンキャンパス」(大学説明会)の実施……………	14
日 誌	6月・7月……………	15

= 入試 =

平成 20 年度入学者選抜要項の公表

(入 試 課)

平成 20 年度入学者選抜要項が 7 月に公表されました。概要は以下のとおりです。

**※本学では、現在改組計画の許可申請中であり、平成 20 年度入学者選抜を次のとおり行う予定です。
詳細については本年 10 月発行の学生募集要項をご覧ください。**

○入学定員（募集人員）

系・学科名		入学定員	募集人員		
			前期日程	後期日程	推薦入学
機 械 ・ 社 会 環 境 系	機 械 工 学 科	1 6 0 人	6 4 人	5 6 人	4 0 人
	社 会 環 境 工 学 科				
情 報 電 気 エ レ ク ト ロ ニ ッ ク ス 系	電 気 電 子 工 学 科	1 4 0 人	6 3 人	4 2 人	3 5 人
	情 報 シ ス テ ム 工 学 科				
バ イ オ 環 境 ・ マ テ リ ア ル 系	バ イ オ 環 境 化 学 科	1 1 0 人	4 6 人	3 6 人	2 8 人
	マ テ リ ア ル 工 学 科				
工学部合計		4 1 0 人	1 7 3 人	1 3 4 人	1 0 3 人

※入学後1年間は各系に所属し、2年次進級時に系内の学科に移行します。

注① 後期日程の募集人員には、各系とも帰国子女特別選抜の募集人員若干人を含みます。

② 推薦入学の合格者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を後期日程の募集人員に加えて募集します。

○選抜方法等

一般選抜

	前期日程	後期日程
選抜方法	大学入試センター試験の成績及び出身学校長から提出された調査書の内容を総合して行う。	大学入試センター試験の成績、本学が行う個別学力検査の成績及び出身学校長から提出された調査書の内容を総合して行う。
出願期間	平成 20 年 1 月 28 日（月）から平成 20 年 2 月 6 日（水）まで	
試 験 日	個別試験は課さない	平成 20 年 3 月 12 日（水）
合格発表	平成 20 年 3 月 6 日（木）	平成 20 年 3 月 21 日（金）

推薦入学

選抜方法	学校長より推薦された者について、調査書、推薦書の内容及び小論文、面接の結果を総合して行う。
出願期間	平成 19 年 11 月 1 日（木）～平成 19 年 11 月 7 日（水）
出願要件	高等学校若しくは中等教育学校を平成 20 年 3 月卒業見込みの者で、次の二つの条件を満たし、かつ志望する系への能力・適性等について学校長が責任を持って推薦できるもの ①高等学校若しくは中等教育学校における学習成績・人物ともに優れ、特に数学、理科の成績が優秀な者 ②志望する系の分野に強い勉学意識と関心を持ち、大学での学習において優れた成果が期待できる者
選抜期日	平成 19 年 12 月 7 日（金）（小論文・面接）
合格発表	平成 19 年 12 月 19 日（水）

帰国子女特別選抜

選抜方法	個別学力検査及び大学入試センター試験を免除し、成績証明書等の成績、小論文及び面接の結果を総合して行う。
出願要件	略
出願期間	平成 19 年 11 月 1 日（木）～平成 19 年 11 月 7 日（水）
選抜期日	平成 19 年 12 月 7 日（金）（小論文・面接）
合格発表	平成 19 年 12 月 19 日（水）

○試験教科・科目・配点

		教科	科目	配点	合計
前期日程	センター試験 (5教科7科目)	国語	国語1科目	100	1000
		地歴・公民	地理歴史または公民から1科目	50	
		数学	数Ⅰ、数Ⅰ・数Aから1科目	300	
			数Ⅱ・数B、工業数理基礎から1科目 注①		
		理科	理科から2科目	300	
		外国語	外国語から1科目 注②	250	
	個別学力検査	課さない			
後期日程	センター試験 (5教科7科目)	国語	前期日程と同じ	50	1000
		地歴・公民		50	
		数学		100	
		理科		100	
		外国語		200	
	個別学力検査	数学	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B、数C	300	
理科		物Ⅰ・物Ⅱ、化Ⅰ・化Ⅱから1科目	200		

注①：工業数理基礎を選択できる者は当該科目の履修者等

注②：外国語のうち、英語にはリスニングテストを含む

平成 20 年度編入学試験の実施

(入 試 課)

平成 20 年度編入学試験の推薦による選抜、
学力試験による選抜が実施され、各学科別の合
格者数等は次表のとおりとなりました。

なお、編入学試験の社会人特別選抜につい
ては、志願者がいなかったため実施されませ
んでした。

学 科 名	推薦による選抜				学力試験による選抜			
	募集 人員	志願者	受験者	合格者	募集 人員	志願者	受験者	合格者
機械システム工学科	10 人	2	2	2	若 干 人	0	0	0
電気電子工学科		0	0	0		1	1	1
情報システム工学科		0	0	0		3	2	1
化学システム工学科		0	0	0		0	0	0
機能材料工学科		1	1	1		0	0	0
土木開発工学科		2	2	2		0	0	0
合 計		5	5	5		4	3	2

= 研究助成 =

科学技術振興機構 平成 19 年度 シーズ発掘試験 採択課題決定

(研究協力課)

所 属	職 名	氏 名	研 究 課 題	交付金額
機能材料工学科	准教授	渡邊 眞次	化学修飾反応によるポリイミド微粒子の機能化	2,000 千円
情報システム工学科	准教授	原田 建治	個人用ホログラム作製法の研究	1,960 千円
電気電子工学科	准教授	村田 年昭	ハイブリッド車用 PWM インバータ駆動 IPMSM の効率最適化制御に関する研究	2,000 千円
国際交流センター	准教授	菅野 亨	修飾アパタイト材料へのタンパク質吸着および脱離特性の評価	2,000 千円
化学システム工学科	教 授	鈴木 勉	木質由来導電性メソ孔炭素の電気二重層キャパシタ電極特性	1,989 千円
化学システム工学科	准教授	兼清 泰正	糖応答性色素放出ポリマーの薄膜化による目視型糖検出チップの作製	2,000 千円
機能材料工学科	教 授	阿部 良夫	固体電解質膜作製のためのドライプロセス技術の開発	2,000 千円
機能材料工学科	准教授	川村 みどり	銀薄膜微細構造の作製とサイズ効果の検討	2,000 千円
地域共同研究センター	工農教育 アソシエイト	住佐 太	新たな微生物変換系の開発と効率化 ～P450 を用いた変換反応を効率化する Redox Partner の開発と応用～	2,000 千円
機械システム工学科	准教授	柴野 純一	超音波顕微鏡による骨組織の粗鬆化度評価システムの開発	1,976 千円
機能材料工学科	准教授	伊藤 英信	青函排出泥を活用した電磁波シールドセラミックスの開発	2,000 千円
土木開発工学科	助 教	白川 龍生	道路ユーザーの安全・安心感に影響を与える路面凹凸形状の自動検出法の開発	2,000 千円
土木開発工学科	教 授	山下 聡	連続繊維補強土地盤の凍結サンプリングと品質管理法の開発	2,000 千円
土木開発工学科	非常勤 研究員	佐藤 研吾	地中探査レーダーによる知床峠積雪観測	2,000 千円

平成 19 年度（財）実吉奨学会 研究助成金 交付決定

(研究協力課)

所 属	職 名	氏 名	研 究 課 題	交付金額
機能材料工学科	准教授	村田 美樹	ホウ素－水素結合活性化に基づく触媒的炭素－ホウ素結合形成反応	1,000 千円

平成 19 年度（財）北海道河川防災研究センター 研究助成 交付決定

(研究協力課)

所 属	職 名	氏 名	研 究 課 題	交付金額
土木開発工学科	教 授	佐渡 公明	北海道内降水量に対する新しい確率降水量計算法の開発	1,200 千円
土木開発工学科	教 授	中山 恵介	変分原理に基づいた洪水時におけるより高精度な水位再現・推定	1,200 千円
土木開発工学科	准教授	早川 博	平坦な岩盤河床における瀬と淵の創出に関する実験的研究	1,200 千円

平成 19 年度（財）秋山記念生命科学振興財団 研究助成（奨励助成） 交付決定

(研究協力課)

所 属	職 名	氏 名	研 究 課 題	交付金額
化学システム工学科	助 教	服部 和幸	抗血栓作用を目的としたアルキル硫酸化多糖の合成と人工心臓表面への応用	500 千円

平成 19 年度 公益信託北海道開発国際交流基金助成金 交付決定

(研究協力課)

所 属	職 名	氏 名	研 究 課 題	交付金額
機械システム工学科	准教授	三木 康臣	国際バイオエネルギー会議（2007）における先進的バイオエネルギー技術調査	160 千円

平成19年度共同研究の受入状況

平成19年7月31日現在

(研究協力課)

所 属	職 名	研究代表者	研 究 題 目	民間機関等
土木開発工学科	准教授	永禮 英明	寒冷地の浄水処理に最適な凝集剤の選定及び凝集方法の開発に関する研究	北見市企業局
土木開発工学科	教授	山下 聡	連続繊維補強土工法によるのり面基盤の力学特性	日特建設株式会社
土木開発工学科	教授	鈴木 輝之	連続繊維補強土工法によるのり面基盤の耐凍上性(その2)	日特建設株式会社
機能材料工学科	准教授	村田 美樹	下水汚泥・放流水中の微量有機・無機成分の長期モニタリングに関する研究	北見市企業局(留辺蘂)
土木開発工学科	教授	川村 彰	高速道路における路面管理基準に関する共同研究	(株)高速道路総合技術研究所
電気電子工学科	教授	谷本 洋	無線通信用アナログ回路技術	(株)東芝
土木開発工学科	助教	舘山 一孝	オホーツク海におけるリアルタイムAMS R-Eデータを用いた海水情報システムの構築(その3)	(独)宇宙航空研究開発機構
土木開発工学科	准教授	永禮 英明	寒冷地における下水汚泥の有効利用に関する研究	北見市企業局(留辺蘂)
土木開発工学科	教授	榎本 浩之	AMS R/AMS R-Eデータを用いた極域の氷表面の日変化の解析や積雪面の変動の研究	(独)宇宙航空研究開発機構
国際交流センター	准教授	菅野 亨	北見産ホタテ貝殻の有効利用に関する研究	訓子府石灰工業(株)
機械システム工学科	准教授	三木 康臣	超臨界水を利用した木質系バイオマスのガス化および有価物回収に関する研究	ペレットファンQLove北海道
機能材料工学科	准教授	宇都 正幸	牛糞・ホタテウロ混合嫌気発酵における残存カドミウムの分析	(株)中央製作所
土木開発工学科	教授	鈴木 輝之	アスファルト再生骨材を路盤材として再生利用するための研究	アース工業(株)
情報システム工学科	教授	藤原 祥隆	地域活性化教育支援システム用Weblogシステムの機能強化	(株)北見コンピューター・ビジネス
機械システム工学科	准教授	三木 康臣	空気式太陽集熱器の高性能化に関する研究	オーエム計画(株)
電気電子工学科	教授	谷本 洋	高速アナログ回路技術	凸版印刷(株)
機械システム工学科	教授	羽二生 博之	健康増進における運動効果の検証とリハビリ機器の開発	美幌町民生部
機械システム工学科	准教授	林田 和宏	灯油燃料性状の酸化安定性、燃焼性への影響に関する検討	(財)石油産業活性化センター

平成19年度累計64件

平成19年度受託研究の受入状況

平成19年7月31日現在

(研究協力課)

所 属	職 名	研究担当者	研究題目及び研究期間	委託機関	所要経費 円
電気電子工学科	助教	仲村 宏一	電気二重層キャパシタの性能特性に関する調査研究	E CaSSフォーラム	1,092,000
地域共同研究センター	センター長 教授	高橋 修平	新時代工学的農業クリエイターの創出 (文科省：科学技術振興調整費事業)	文部科学省	46,610,460
機器分析センター	准教授	南 尚嗣	平成19年度GEMS/Waterベースライン モニタリング委託業務	(独) 国立環境研究所	4,280,000
機能材料工学科	准教授	渡邊 真次	化学修飾反応によるポリイミド微粒子 の機能化	(独) 科学技術振興機構 イノベーションプラザ北海道	2,000,000
情報システム工学科	准教授	原田 建治	個人用ホログラム作製法の研究	(独) 科学技術振興機構 イノベーションプラザ北海道	1,960,000
電気電子工学科	准教授	村田 年昭	ハイブリッド車用PWMインバータ駆動 IPMSMの効率最適化制御に関する研究	(独) 科学技術振興機構 イノベーションプラザ北海道	2,000,000
国際交流センター	准教授	菅野 亨	修飾アパタイト材料へのタンパク質吸 着および脱離特性の評価	(独) 科学技術振興機構 イノベーションプラザ北海道	2,000,000
化学システム工学科	教授	鈴木 勉	木質由来導電性メソ孔炭素の電気二重 層キャパシタ電極特性	(独) 科学技術振興機構 イノベーションプラザ北海道	1,989,000
化学システム工学科	准教授	兼清 泰正	糖応答性色素放出ポリマーの薄膜化に よる目視型糖検出チップの作成	(独) 科学技術振興機構 イノベーションプラザ北海道	2,000,000
機能材料工学科	教授	阿部 良夫	固体電解質膜作成のためのドライブプ ロセス技術の開発	(独) 科学技術振興機構 イノベーションプラザ北海道	2,000,000
機能材料工学科	准教授	川村 みどり	銀薄膜微細構造の作製とサイズ効果の 検討	(独) 科学技術振興機構 イノベーションプラザ北海道	2,000,000
地域共同研究センター	工農教育 アソシエイト	住佐 太	新たな微生物変換系の開発と効率化 ～P450を用いた変換反応を効率化する Redox Partnerの開発と応用～	(独) 科学技術振興機構 イノベーションプラザ北海道	2,000,000
機械システム工学科	准教授	柴野 純一	超音波顕微鏡による骨組織の粗鬆化度 評価システムの開発	(独) 科学技術振興機構 イノベーションプラザ北海道	1,976,000
機能材料工学科	准教授	伊藤 英信	青函排出泥を活用した電磁波シールド セラミックの開発	(独) 科学技術振興機構 イノベーションプラザ北海道	2,000,000
土木開発工学科	助教	白川 龍生	道路ユーザーの安全・安心感に影響を 与える路面凹凸形状の自動検出法の開 発	(独) 科学技術振興機構 イノベーションプラザ北海道	2,000,000
土木開発工学科	教授	山下 聡	連続繊維補強土地盤の凍結サンプリ ングと品質管理法の開発	(独) 科学技術振興機構 イノベーションプラザ北海道	2,000,000
土木開発工学科	非常勤研究員	佐藤 研吾	地中探査レーダーによる知床積雪観 測	(独) 科学技術振興機構 イノベーションプラザ北海道	2,000,000
機械システム工学科 // 地域共同研究センター	教授 准教授 准教授	富士 明良 柴野 純一 有田 敏彦	第一次産業の工業化と寒冷地対応技術 に関連した金属材料加工における中核 人材育成	(社) 北見工業技術センター 運営協会	2,157,750
国際交流センター 化学システム工学科 SVBL	教授 助教 非常勤研究員	山岸 喬 船木 稔 石井 康太	生活習慣病等改善効果を有するハマナ ス新規高機能性エキスの開発	(社) 北見工業技術センター 運営協会	808,500

平成19年度累計 24件

平成19年度奨学寄附金受入状況

平成19年7月31日現在

(研究協力課)

所 属	職 名	研 究 者	寄 附 目 的	寄 附 者	寄附金額 円
情報システム工学科	准教授	早川 吉彦	医用工学研究のため	北見医工連携研究会	200,000
土木開発工学科	教授	川村 彰	車と路面の相互作用に関する研究に対する奨励	S R I 研究開発株式会社	1,000,000
土木開発工学科	准教授	桜井 宏	北見神社鳥居コンクリート部材等の保全に関する調査検討	北見神社	220,000
未利用エネルギー研究センター	教授	庄子 仁	工学研究のため	(株)豊水設計	100,000
土木開発工学科	准教授	早川 博	工学研究のため	(株)豊水設計	100,000
土木開発工学科	教授	山下 聡	工学研究のため	(株)豊水設計	100,000
土木開発工学科	教授	大島 俊之	工学研究のため	(有)アミューズ	100,000
土木開発工学科	准教授	三上 修一	工学研究のため	(有)アミューズ	100,000
土木開発工学科	准教授	後藤 隆司	工学研究のため	(有)アミューズ	100,000
機能材料工学科	教授	青木 清	非パラジウム系水素透過合金に関する調査・研究のため	日立金属(株)先端エレクトロニクス研究所	1,000,000
国際交流センター	教授	山岸 喬	教育研究助成のため	共成製薬(株)	700,000
機械システム工学科	教授	大橋 鉄也	加工硬化特性と組織に関する研究助成	(社)日本鉄鋼協会	160,000
電気電子工学科	教授助教	田村 淳二 高橋 理音	風力発電を含む系統の系統安定度解析および向上方策に関する研究	北海道電力(株)	1,000,000
土木開発工学科	教授	中山 恵介	変分原理に基づいた洪水時におけるより高精度な水位再現・推定	(財)北海道河川防災研究センター	1,200,000
土木開発工学科	教授	佐渡 公明	北海道内降水量に対する新しい確率降水量計算法の開発	(財)北海道河川防災研究センター	1,200,000
土木開発工学科	准教授	早川 博	平坦な岩盤河床における瀬と淵の創出に関する実験的研究	(財)北海道河川防災研究センター	1,200,000
化学システム工学科	助教	服部 和幸	研究助成のため	(財)秋山記念生命科学振興財団	500,000
化学システム工学科	教授	多田 旭男	工学研究助成	J F E 技研株式会社	1,000,000
土木開発工学科	教授	前田 寛之	堆積軟岩の地質解析	日本公共企画株式会社	100,000
機能材料工学科	准教授	村田 美樹	「ホウ素-水素結合活性化に基づく触媒的炭素-ホウ素結合形成反応」の研究に関する助成	(財)実吉奨学会	1,000,000
土木開発工学科	教授	鈴木 輝之	工学研究のため	鈴木 輝之	320,000
国際交流センター	教授	山岸 喬	教育研究助成のため	(株)カイゲン	700,000

平成19年度累計 37件

= 国際交流 =

アメリカ合衆国・アラスカ大学フェアバンクス校との

学術・教育交流協定締結

(研究協力課)

6月15日(金)、本学とアメリカ合衆国のアラスカ大学フェアバンクス校との間で「学術・教育交流協定」を締結しました。

この協定は、平成18年10月にアラスカ大学フェアバンクス校の研究者が来学したことがきっかけとなり、国際共同研究及び大学間交流について話し合いがなされました。

また、本学からも大島理事及び高橋地域共同研究センター長が平成19年3月同校を訪れて、両大学で学術交流の気運が高まりました。

その後大島理事を通じて協定締結の申し出があり、今回の学術・教育交流協定の締結に至ったものです。今回の協定締結で本学との学術・教育交流協定締結大学は、7か国16大学となりました。

なお、本協定の締結を記念して、10月9日(火)に本学においてアラスカ大学の関係者をお招きして国際ワークショップを開催することとなっております。



スティーブ・ジョーンズ学長と会見

モンゴル科学技術大学との学生交流に関する覚書の締結について

(研究協力課)

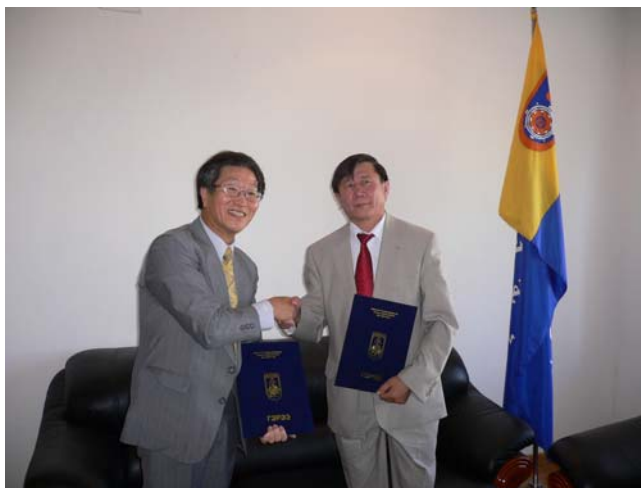
7月25日(水)、本学とモンゴル科学技術大学との間で「学術・教育交流協定覚書」を締結しました。

調印式は、本学から常本学長、山岸国際交流センター長及び山田事務局長がモンゴル科学技術大学を訪れて行われました。

本学とモンゴル科学技術大学とは、平成12年1月に「学術・教育交流協定」を締結しておりましたが、学生交流に関する覚書の締結がなされていませんでした。

平成18年7月に山岸国際交流センター長がモンゴル科学技術大学を訪れたことがきっかけとなり、両大学の学生交流について話し合いがなされました。

その後モンゴル科学技術大学から「学生交流に関する覚書」締結の申し出があり、今回の締結に至ったものです。



覚書の署名を終えて握手する両学長

＝ 諸報 ＝

陸上競技場の芝補修工事の開始

(施 設 課)

5月中旬から、陸上競技場の痛んだ芝を補修する工事が始まり、インフィールドはロープで囲まれ使用できなくなりました。

この工事は学長が日頃から話している「学生の元気が大学の力」を実践するため、競技場を使用しスポーツを楽しむ学生の安全・安心を確保するための工事です。

完成予定は10月下旬ですが、芝の状況により8月から週1～2回程度の利用が可能となる予定です。競技場を利用する皆様には長らくご迷惑をおかけしますが、もうしばらくお待ちください。



芝補修工事中の陸上競技場

研究者交流施設前に憩いの場

(施 設 課)

研究者交流施設の前庭に東屋が建設されました。この場所は今まで用途が定められていない空き地でしたが、この度学生や教職員の憩いの場として整備することとなりました。

本東屋は3.8メートル四方の木造で、周辺は芝が張られ、通路はインターロッキングで舗装されており、周りを樹木と垣根で囲い、一般市民との交流の場としても活用されることが期待されます。

なお、当該憩いの場を団体で使用する場合及び研究者交流施設内の水やトイレの使用については、今後ルールを決めて運用

する予定です。



研究者交流施設前に広がる憩いの場

北見工業大学学術機関リポジトリ KIT-R（きつとあーる）を公開

（情報図書課）

図書館は北見工業大学学術機関リポジトリ（Kitami Institute of technology Repository）-通称KIT-R（きつとあーる）-を6月18日に公開しました。

今回の公開では、約200件の学術雑誌掲載論文と684件の紀要論文データが含まれており、道内他大学や道外工科系他大学と比較しても優れた内容となっております。

KIT-Rは北見工業大学の研究者が作成した学術研究成果をインターネットを通じて積極的に公開する情報発信システムです。収録された学術研究成果は、国内はもとより世界のどこからも閲覧が可能です。

図書館委員会は「機関リポジトリ運営指針」を制定し基本的ルールを定めました。

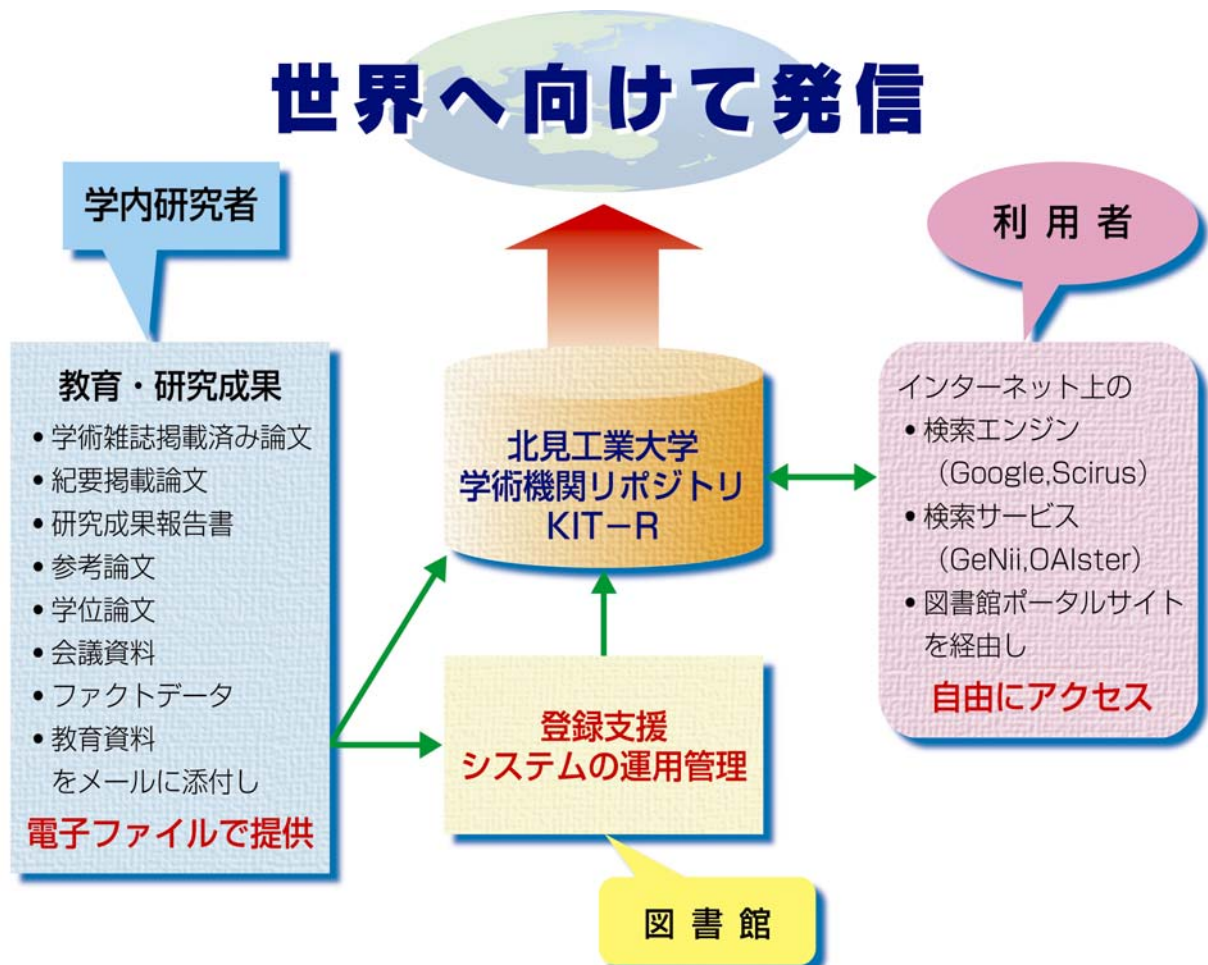
運営指針で、登録・公開資料は学術雑誌掲載論文、紀要掲載論文、研究成果報告書、学位論文、図書、会議・講演会資料、講義録等と定義しました。

コンテンツの登録は教職員が情報図書課にメール添付で送信していただく形になりますが、全教職員に原稿提供依頼の案内を10月にさせていただきますのでご理解、ご協力をお願いいたします。

「北見工業大学学術機関リポジトリ KIT-R」HP

<http://kitir.lib.kitami-it.ac.jp/dspace/index.jsp>

ご自身の論文を一覧表示させる場合は、画面左側の一覧メニューから著者をクリックすると著者名の検索画面が表示されますので、ここから検索してください。



「平成 18 年度ベストティーチング賞」表彰式を実施

(学生支援課)

去る 7 月 9 日 (月)、平成 18 年度ベストティーチング賞の表彰式を実施しました。

同賞は平成 13 年に創設されたもので、今回は平成 18 年度に実施した学生による授業評価の結果、授業に対する準備、熱意、指導等が顕著であるとされた教員 7 名 (各学科 6 名、共通講座 1 名) が受賞し、このうち 2 名は 2 度目の受賞となりました。なお、授業形態や教材などの工夫で教育改善

が顕著であった教員を表彰する「エクセレントプログラム賞」の該当者はありませんでした。

表彰式では、学長から一人ひとりに盾が授与された後、学長から受賞者に対しお祝いの言葉がありました。

なお、受賞された方々は、以下のとおりです。

「ベストティーチング賞」

機械システム工学科	准教授	鈴木	聡一郎
電気電子工学科	教授	野矢	厚
情報システム工学科	准教授	原田	建治
化学システム工学科	教授	堀内	淳一
機能材料工学科	准教授	南	尚嗣
土木開発工学科	准教授	伊藤	陽司
共通講座	准教授	柳	等

「エクセレントプログラム賞」

該当者なし



学長を中央に「平成 18 年度ベストティーチング賞」受賞者

「オープンキャンパス」(大学説明会)の実施

(入 試 課)

平成 19 年度も、道内外から父母、高等学校教諭等を含む多くの皆様にご参加いただきました。

小林理事の挨拶から始まり、各学科紹介のリレートーク、体験学習が続き、参加者は説明者の話に熱心に耳を傾けていました。

お昼は大学生協の協力で、学食体験として参加者全員に大学生に人気のメニューが提供されました。

午後からも午前引き続き体験学習の第 2 部が行われた後、最後にコミュニケーションアトリウムにおいてブース形式での各学科や在学生による個別相談を実施して終了しました。

当日は、あいにくの雨模様での実施となってしまいましたが、参加者からは「来年も参加したい」「とても有意義だった」など大変好評な感想が得られました。



学科リレートーク



体験学習



学食体験



個別相談

= 日誌 =

(総務課)

6 月

- 1 日 北苑祭 (～3日)
- 4 日 企画運営会議
地域共同研究センター産学官連携推進員
会議
- 6 日 教育研究評議会
- 8 日 地域連携推進委員会

教務委員会
- 11 日 企画運営会議

発明審査委員会
- 13 日 編入学試験 (推薦による選抜)
- 15 日 経営協議会、学長選考会議、役員会
- 18 日 企画運営会議
- 19 日 入学者選抜委員会
- 20 日 教授会、研究科委員会

大学評価委員会

国際交流委員会

編入学試験 (推薦による選抜) 合格発表
- 21 日 K I Tげんき会総会
- 22 日 キャリア支援セミナー、就職ガイダンス
- 28 日 健康チェック・栄養相談

7 月

- 2 日 地域共同研究センター産学官連携推進員
会議
国際交流委員会
- 4 日 編入学試験 (学力試験による選抜)
- 5 日 学生委員会
- 9 日 企画運営会議

学生よろず相談室室員研修会
- 10 日 発明審査委員会

入学者選抜委員会
- 11 日 教授会、教育研究評議会

内部監査報告会

編入学試験 (学力試験による選抜) 合格
発表
- 13 日 図書館委員会
- 19 日 F D講演会
- 23 日 インターンシップガイダンス
- 26 日 財務研修
- 28 日 オープンキャンパス
- 31 日 科学研究費補助金パワーアップセミナー